



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

一つの原子爆弾によってたくさんのものが、
たくさんの人が一瞬にして破壊されてしまったの
だということを始めて知りました。私が心に残っ
たのは「候補になった都市」の中で京都が排除さ
れた理由です。先生は京都にはたくさんの文化
財があるため破壊するのはだめだったからだ
とおっしゃっていました。話としては聞いたことが
あったのですが、今回の特別授業を受講して考
え方が変わりました。アメリカ軍は親切のつもり
だったかもしれませんが。しかし原子爆弾でなくて
も、と別の方法で日本を正してほしかったんです。ま
た最後の手紙を読んで下さったところで広島原爆
資料館の皮ふがただれていた人の像に「きれいす
ぎる」と言っていたことも心に残っています。そく、と
しました。原爆の生々しさ、おそろしさを学びました。
私はこの授業で前述のように原爆の怖さを
知りました。この出来事は忘れてはならない戦争の
記憶だと思います。後の世代にも伝えていこう
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/19

僕は原爆先生の話を聞いて「原爆って怖いと思った。」なんてレベルじゃないことを深く理解した。核爆者はもう「苦しい」とかではなく何でも言い表わせない思いをしたと思う。正直僕はこの時代に生まれて良かったと思ってしまった。こんな悲劇を起こしたのはアメリカがもちろん悪いが、日本も原爆を落とさせることをしたと思う。お互い様だ。こんなになるなら戦争なんて起こさないでほしいが、逆にこんなことがあつたから今の自分がいる。もしその時代に戦争がなかったら、今も、とすごい兵器が出されていたかもしれない。僕はこの哀れな過去を伝えられた。この過去は忘れられない。さらには多くの人に伝えなければいけない。原爆が落とされた過去は変えられない。僕達が出来ることがあること、と「伝えること、だ」と思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話をメモにとりながら話を聞くと、メモをとっていたのですが、少ししたら、メモをとるのをわざと、やめました。なぜかという、原爆先生の言葉に集中するため、それと、メモを取ると「忘れてもいい」と思ってしまうと感じたからです。言葉だけでは伝わりないこともありますが、伝えられるとただ「聞いても伝えるために、記録に残したいので、未来のために、自分の印象に残し、伝えていく」ために、僕はわざと、メモをとるのをやめました。80年も前の地獄を今、もしくは未来に残さなければ、伝えることが出来ず、そして伝えていくことは、とても重要なことだと思います。最後に、この地獄がくり返さないように願います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

自分は、この特別授業をして「人間ておいな」と思いました。人間を大量殺すために、同じ人間がその兵器作り、実行するという、とてもおそろしいことです。ですが、これは、「戦争」です。戦争に「アメリカが悪い」、「日本が悪い」、なんて、言いようがありません。お互いに、必死にた、て相手の国を潰すために戦っています。「なにもしない人をねらうのはどうだ」と言う人もいますかもしれない。だけど、何度も言うけど、これは「戦争」、冷静ではいられません。相手をたおすためにどしどしな手でもつかれます。二次大戦争が後から、色々な国は原爆より強い物を作って、くらみ合っていました。ですが争いませぬ。理由は「ミサイルを使ったら世界が終わるかもしれない」、からです。うちは、た、ら世界が終わるかもしれないのに、それをわく、てても作りつづけています。理由は、「見せつけ」です。「おれはこんな武器もってるぞ、かかてこい」と、ほかの国に目玉をきかせて、手を出せないようにしています。核たえなければ、こんなことにはなりません。色々な国の人たちと、ま、えなければなりません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は、戦争のことについては、なんとなくなら
 していました。でも原爆先生の特別授業を
 うけて戦争とは、人が生きる中で一番の土地狩
 だと思いました。なぜ人が生きる中で一番の土地狩だ
 と思ったかは、原爆で被害にあつた人でも火傷がある人
 軽傷であつた人が火土場した人を助けようとしても、
 火土場をしたので手をつかんで車に乗せようと
 しても、皮ふがはがれて車に乗せられない
 というので「かわいそうだ」と思ひながら
 聞いていました。

だから僕は、原爆先生に感謝したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

まあ、僕が驚いたのは、球体の表面温度が太陽の表面温度に勝っていることだ。球体の温度が7000℃に
 対して、太陽の温度は6000℃と1000℃もちがうことだ。
 広島に投下されたという原爆「リトルボーイ」という爆弾。見た目が竹の子の潜水艦にでもな
 らそうなのに、悲劇の元凶となってしまうのかと
 ても悲しいことをして、もう一つ、驚いたこと
 は、衝撃波の速さが、毎秒440mと
 音の速さより速いということもあり、さらに、原
 爆の強さが分かります。あと、原子力爆弾投下
 都市の条件として、①直径5kmを超える。②平野
 である。③空襲が今まで無かった。という考えが
 いろいろの条件がアメリカに少し感心を持たせて
 それに、「B29爆撃機 エノラ・ゲイ」にも
 普通の飛行機を飛ばすよりもよぶから
 だと思えます。広島の人口34万人中、やがて
 来た人の数は24万人で、お亡くなりにはな
 った人数は14万人もいて驚いてしまった。戦争
 の一面を新たに知るいい機会だった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、この前は人の話を聞いて、身を聞いてきた。理由は、トラックに人を乗せる時に、腕をモツと、みふが落ちて、苦しい姿を想像すると、とても怖い。だから、目を閉じたから理由は。でも、こんな人で怖くいたら、本当に、被害者の人たちは、怖く、そして、痛く苦しんでいるのに、こんなんでも怖く、自分がとてもださく感じた。そして、池田義三さんに、とても共感した。助けたんでも、助けられない。これは、とても共感した。もし、友達が助けて、と言っていて、助けられないのは、とても悲しいし、とても嫌だ。そして、原子爆弾が落ちて熱くて、防火用の桶の中に入るほど苦し、それがとても伝わってきた。この、特別授業を受けて、戦争の怖さも知った。そして、自分たちだけではなく、ほかの人たちにも知ってほしいと、とても思った。本当に、戦争の話をしてくれて、ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は昨日の学習を通してすごい印象ができました。それは原爆が落とされた後の町にびくりましたからです。なぜびくりましたかと言うと、爆心地にあり、燃える物は全て燃えていたということ、リトルボーイが爆発したときの辺りの温度です。その温度が太陽の表面の温度が6000℃にたいて爆発同時のリトルボーイの温度が7000℃にたいたこと。なぜなら太陽そのものの太陽の表面の温度を超えているからです。自分はそこが印象に残りました。そして大やけどをおかした人は、皮膚がただけていた。と言ったときに「ソッ」としました。そして広島市には、人口35万人なのに、原爆で14万人の人々が亡くなったと考えると、ひいては、ひいては絶対戦争をしたくなくなりました。しかも被爆者数も4万人と広島をおそいました。そして広島市の人口は35万人にたいて、被爆者が、広島市の人口を超えたこと。しかも3万人もです。これ考えたとき、自分はこう思いました。「もう聞きたくない」と思いました。でも亡くなった人の無念さよ、よって「絶対聞くと」心の中で決まりました。そして自分はずっと「はいねえ」「あ、す」と思っていたことがあります。それは池田さんです。なぜかと言は、おしく情熱的な人でお父さんごとを伝えてくれて、すこく感謝しています。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回の特別授業で、戦争のひどさを知りました。
死亡率40%、5人に2人が死ぬ。という状況が起
ることもある。ということを実感しました。

そして、私は、自分だけ生き残るということも知りまし
た。自分だけが生き残る。ということとは、とても辛いこと
だと思いました。なぜなら、大切な友人や、大切な
家族なども死んでしまうから、とても辛いのではない
かと思いました。

私は、今回の学習から、改めて戦争としてはいけない
と思いました。

また、おからは、泥山の人に戦争について伝えて行か
たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この授業を通して、実際に被爆してしまった方のビデオや体験談を聞くことで、原子爆弾の恐ろしさが改めて理解できました。また、横浜や京都なども原子爆弾の落下地点の候補になっていたことがおどろきました。もし、横浜に落ちたら、東京湾が汚染されていたかもしれないし、京都だと貴重な文化財が無くなっていたかもしれないです。そのようなことから考えても、原子爆弾は恐ろしいです。そして、その恐ろしさを次の世代にも引きついでいき、核兵器や戦争のない、平和な世の中になってほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

単戈争は、とてもおそろしいことだと改め、感じました。
最初は「戦争なんて」と思っていたけど、原爆暴
先生の話を聞いて、少し、単戈争に對する
考え方が変わりました。このようなことを二度と
起こさないように、いつまでも未来の人に、
単戈争のこわさやおそろしさを伝える糸売けて
いくことの大切さ分かりました。伝えるのは難
しいかもしれないけれど、単戈争のおそろしさを伝
えるために残された建物をや物を見て、単戈
争のことを意識し、アけて行くことが自分に
出来る一番のことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業で、戦争のおそろしさを知りました。
この授業で、一番おどろいたことは、爆心地に近いところ
にいた人が、原爆が落とされたしゅんかん
に消えてしまった、ということです。私は、そのことを
知って、原爆のおそろしさを知りました。
この授業で一番心に残ったことは、助けたくても、
助けられない人がいる、ということです。また、原爆
の表面温度が太陽の温度よりも高く、地上の温度
は3000℃とら、鉄がとける温度よりも高い、という
ことも、心に残りました。でも、これらのことは、全て
人間の谷欠のせいで起こっていることだと思いました。
また、広島に原爆が落とされて、被害を受けた人々
が多勢いることは、アメリカだけの責任ではない
と思いました。このようなことを絶対に起こさないよ
うにするためには、世界だけでなく、一人一人の協力が
必要だと思いました。私たちにできることは、
伝えることだと思います。これから長い間生きて
ゆくときに、若い人々が、戦争のことを忘れないように
「平和」の大切さを伝えていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今まで、「戦争って、どんなことが起こっていたんだろう？」と思っていました。しかし、話を聞いた後にはもう二度と関わりたくない世の中が想像出来ました。その世の中ですら、考えたくもなくなりました。

私の祖父と祖母は、昔に大きな戦争にあっていて聞いていました。戦争は、自分でも怖いのは分かっていたけれど、本当は、戦争などの争いごとにはまきこまれている人々の気持ちを考えたことがありませんでした。

争いにまきこまれたことが無いからで、戦争などの恐いことが分からず考えたこともありませんでした。

11月18日、この日は、原爆先生の特別授業、私は「どんな話をしてくれるのだろう」と楽しみにしていました。

しかし、話を聞いていくにつれ、その楽しみがなくなり今すぐにでもこの話を終わらせたいという思いが出て来ました。私はこの話の中で「助けたくても助けられない」という悔しさが感じられました。

今までの思いが心の底でしずんでいくおなしい思い。このおなしい思いが戦争の怖さだと分かり、この恐しさを今後沢山の人に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して
原爆の恐ろしさが少しですが分かりま
した。原爆の原因を作った、日本、アメリカ
のせいで信じられないほどの人が
亡くなりました。戦争はただ人が死んで
いく戦いであり何も産まないのでもんだ
いことをしないでほしかったです。

助けたくても皮肉か、はがれ助けられな
い、救いも希望もないような地獄の
ような場所でただ人が死んで建物が壊
れいく。ぼくには想像すかできないよう
な状態です。

ぼく達、の普段の生活の中でこんな事
が突然、起きるほど怖い物はないと思
いました。

このような事が二度と起こらないように
ぼくができることは知り伝えることです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、戦争は二度としてはいけない
と思いました。原子爆弾一つで「何千人、
何千万人」の命がなくなるなんて、悲惨だから
二度としてはいけないと思いました。

被爆者数が24万人だと知ったとき、胸が痛く
なりました。家に帰って、おはあちゃんに
原爆先生が語っていたことを話すと、「あれは、本当に二度
としてはいけない」と話していました。「戦争は大勢の命を
うばうから絶対にしてはいけない」ということを次
の世代に伝えていこうと思います。

「戦争は絶対にしてはならない」ということを
心に刻んで次の世代に伝えることが私にできる
ことだと思います。それを実現させようと思います。
原爆資料に行き、もっとくわしく知り、次の世代に
伝えたいです。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業を受けて、原火暴の悲し
 さ、苦しさを強く感じました。まず、回目の原爆
 が落とされた、1945年の8月6日の広島の状態。
 皮膚がやけどでたれていて、手をななめにして歩い
 ている人たちが大勢。もしぼくが、このような光景を見
 たら、思わずさげんでしまうかもしれない。そんな
 光景を見て義三さんはその人たちをいっはめてトラック
 に乗せてあげようとするが皮膚がたれていて、手では
 いると皮膚がぐる、ととれて、道路へ落ちてしまうのだから
 ただただトラックに乗り見ていることしかできない。
 助け、目かけて兵隊さん、このような声を聞さな
 から、この人たちの苦し。何もできない義三さんの
 もじかしさ。そして、翌日の11時また広島に原爆
 が落ちると知った義三さんの恐怖。ぼくだったら、
 も広島から逃げるかもしれないけれど逃げなかった
 義三さんはやっぱりすごい。ぼくは原火暴の表面温度
 を聞いてびっくりした。池田さん(原爆先生)は最
 初に7000°の凄みの意味はこれからの話をよく聞い
 ていたら絶対わかると言っていた。たしかにそうだ。ぼくはこの話



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この受講を通してとても小布がたて
 ず家に帰ることも安心できずにいました。
 原爆は、とても、そろしい物だと思いは
 何も悪いことをしていない人に原爆を落と
 すなんてひどいと思います
 みんな太陽の1000℃^{熱い}熱い物がからてく
 ると考えることゾットしまあ
 その太陽をからつうにおとせるアメリカ軍
 も悪魔だと思ひます
 この2021年にならてもまだこういう戦争
 がおこらないともかぎりませんなの
 でこのぼくたちにできるのは、この
 戦争のこともおそれかしてほかの
 人につたえることがぼくたちにで
 きることだと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて感じたことは3つあります。
 1つ目は、原爆弾はあんなにおそろい、平和のこの地獄に
 変えてしまうという話を聞いて感じました。2つ目は助け
 たしても助けられないことです。手を打んだら皮がはがれて
 よけりに人が苦しいという話を聞いて自分は何もできなくて
 かしい気持ちになりました。3つ目はすべてがなくなるとい
 うことです。なぜなら木で作られた物はすべて火でなくなり、
 広島県産業奨励館はあんなに大きいのにだいたい半分くらい
 残るの見て(写真)すべてを平野にしてしまっておそろい物とい
 うことを感じました。これから海外に行く時に失礼がなりようとし
 ていただきます。また今後、未来の人が子供にこの話を伝え
 て二度も戦争を起さぬように伝えてほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

まず、原爆はとても辛く苦しい物だ。ということが、よく分かりました。原爆先生の特別授業を受講する前から原爆のことは知っていました。けれど、私は、「たくさんの方が死んだ」くらいしか知りませんでした。原爆先生の特別授業を受講して、全身火傷してる人が兵隊の人たちに「兵隊さん...助けて...」と言っている。というところが、心に残りました。とても痛いんだろうな... 苦しいんだろうな... 辛いんだろうな... と思いました。あと、7000℃(太陽は6000℃)もする原爆が、すぐ近くに爆発したと聞きました。これを聞いて地獄の「灼熱地獄」みたいだ、と思いました。現実的に地獄ができて、しかも地獄に行くような「なにも悪いことをしていない人」が。もう一度大切なことなのでここに書きます。原爆はとても辛く苦しい物だ。ということが、よく分かりました。私ができることは、あまりありませんが、まずは「知る」と「忘れないこと」を胸に刻もうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて、戦争はとても悲惨なものだと学びました。また、原子爆弾投下には条件が三つもあること。原子爆弾投下されとできる火の球？は太陽より熱く近くの地面は3000℃にもなること。広島で五人に一人が死んでしまったと知りました。私は今まで、そんなに大規模な被害を受けていたと、知らなかつたためとてもおどろきました。私は最初、被爆した人達だけのことを考えていました。痛が、ただろうな、つらか、ただろうな、と被爆者の気持ちを想像していましたが、よし三さんの話を聞いてるうちに、それを見ているのに何もできないのをつらいと思いました。



名前は裏面に記入してください。

～原爆先生の特別授業を受講して～

じゅこう

表

今回の授業を聞いて思、夫事は「聞きたくない人ないやな言古」だと思ひました。理由は、助けエうとして手を取ると手のはたかをはかれるという戸介がらきました自分は二トな事かあたういたくてたえきよないで(=)。

また今回の授業で一番心に残、たのは義三か、広島平和記念資料館に来た時、手からたぬたはだを見て「きれいすぎる」と言、た戸介です。その言葉に「え？」と思ひました。これでもとて見えていらぬないほどなのですが、とも悲惨な物を義三は見たんたろうと思つと今この平和な時、たうまきてきてとてもうぬとく思ひます。これかともこの味しい人でみんががあるまうにこれかともか人ばりたいてです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まず、授業が終わってからは、みんな見たいくない。してほしい
 ーと思いました。みんな見たいと分かった気があっていいが。
 何が分かったんだとなりました。この見たいは、私には「分かってい
 ても、こういうことは、あつてはならない」と思いました。
 人が嫌だと思ってる。大勢が嫌な思いをします。私は嫌です。
 特に私は、「助けたいのには、助けてあげられたい」という思いは、
 心を動かされました。放置ではなく、助けてあげられたい、早くからい
 ーと思いました。人の生命を大切にしているのだと感じました。みんなのために重く
 とてまにあがれます。私は みんなのためというのがあまり好きでは
 ありません。みんなのためにお手伝いなどは好きですが、したくないこと
 をするのは嫌いです。
 原爆先生のお話は、いろいろな人に聞いてほしいと思いました。
 これからも活動ががんばってください。お体に気をつけて。
 貴重なお時間、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11/18

原爆先生の授業で学んだことは、たくさんあります。原爆のことは、知っていたけれど、投下された原爆の熱さや衝撃波の速さは、初めて知り驚きました。一瞬で、14万人の人が、亡くなってしまった。被爆した人も、何が起きたか、分からず、亡くなってしまったり、今でも痛みを苦しんでいる、と思います。動画で、B.29が広島に原爆を投下するところを見ました。大きなけむりの下で、3000℃の熱で静かに人々の命をうばいました。動画を見ているのに、時間が止まったように感じました。私のおじいちゃんは、77歳です。原爆が、投下され、戦争が終わった1945年9月生まれです。長生きしてほしいです。戦争を知らない人たちがばかりになっていくけれど戦争や原爆でぎせいにあった人たちがいて、戦争が終わって一生けん命働いた人たちがいて、今の平和な日本があるのだと思いました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講してみて、改めて原爆のこわさを知ることができました。

例えば、次のような事です。

- ・ 広島県に投下された原爆の重さは4tあった事。
- ・ アメリカは原子爆弾を京都に投下しようとしていたら作戦(原子爆弾の投下)がとても上手くいったはずなのに日本の文化という所を考えていたことがビックリしました。
- ・ 原爆には、放射線というのがふくまれていてその放射線をあびると体に害をあたえてしまうというのにそれが、広島県の爆心地周辺に放出されたというのはとてもこわいことだと思いました。
- ・ 原爆ドームのもととは「広島県産業奨励館」という名前だったことを知れました。

・ そして、なにより原爆を投下しただけで、広島市民の40%の人が亡くなってしまったというのがこわかったです。

ぼくは、上のような事を学ぶことができました。ぼくは、

先日の原爆先生の特別授業はとてもためになったと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/18

私は、五年生の国語で、た「たずねごと」を読んで、原爆や命について、よく知ることができたと思、ていました。ですが、今回の話しを聞いて、体験していない人が簡単に理解できるようなことではないのだと思、ていました。また、理解できたと思、い、簡単にすませてもいいことではないと思、ていました。

五年生のときよりは、理解できたと思、ていますが、本当の苦しみやこわさが分かるのは、実際に被爆した人や、池田義三さんのようにその場にたまたま「たずねごと」の人だけなのだと思、ていました。当たり前なことではありますが、私に何百度、何千度のあつさは想像できませんし、皮が剥がれ落ちたときのゾッとする感覚もほんの少ししか分からないからで、最後に見た池田義三さん本人のビデオを見て、と中で泣いてしま、いたところがとても心に残りました。話すだけでも辛いのに、私たちのような原爆についてよく知らない人のために伝えてくることに、と「たずねごと」を繰り返したくないのか、よく分かりました。

私は、この話しを聞いて、簡単に理解できることではないけど、理解できるように努力し、次の世代へ伝え、二度と同じことを繰り返さないことが大切なのだと思、ていました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/18

私は前に原爆の事を詳しく知っていたので、今回のお話は自分の原爆についての知識を向上させることも為になる授業でした。また、新たにいろいろな事を知れて良かったです。今回の授業で広島や長崎がとても悲しく辛い思いをしたのか知れて良かったです。私は最初の題名の「7000の少年」の意味がよく分かりませんでした。でもお話を聞いた後にもう一度その題名を考えてみたら広島に7000の少年、リトルボーイと言う名の原爆が落とされたという事実を題名にしたのはとてもインパクトが強かったです。さらに原爆には、熱線の他にも衝撃波や放射線などという物もあって今でもその被爆者は苦しめられているという事をニュースで見ました。今だからこそ被爆者の人へは健康手帳のような物が贈られていますか。それはず、と長い間被爆者が政府に訴えてきたからであってその訴えがなければ被爆者は一般人として扱われていた事を考えるととても理不尽なことだと思います。今、原爆ドームは世界遺産に認定されていますかそれは原爆の恐ろしさを世に伝えるためなんだと思います。そして原爆の事は後世に伝えていくべき事だと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/18

先日の受講で、僕はたくさんのご事を学び考えさせられました。例えば、衝撃波は音速よりも速かったこと。空気が膨張して、真空地帯になったことなどです。他にも、義三さんが体験した悲惨な出来事を知ることが出来ました。しかし、僕が一番心に残ったことは、義三さんが残してくれたビデオと原爆資料館での出来事です。

義三さんが僕達に残酷な思い出を泣きながら語ってくれたことに僕はすごく感謝しました。また、原子爆弾が投下され、数十年後に原爆資料館に行ったときの義三さんが放った言葉です。ただただ資料を見ていた義三さんが被爆者を再現した人形を見たとき、生やさしすぎると言っていました。僕は、この言葉に「はっと」しました。なぜなら僕が想像していた被爆者の方はまさに人形の通作だと思っていたからです。

たった、たった76年前のこと。それでも信じられません。だから、だからこそ、後世に伝えなければならぬと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/10

ぼくは先日、「原ばく先生」の話しを聞いて、「原ばくのおそろしさを改めて知れました。ありがとうございます。そしてアメリカの原ばくを落とせば対して疑問を持たず。それは人が苦しいということが分かっているのに関わらず「二回」も原ばくを落とすということに反対してのことです。

さらに原ばくに対して太陽より1000度高い7000°Cということがものすごくおどろきました。7000°Cなんて想像できませんでした。ですが原ばく先生の授業を受講して想像ができました。

これからは「原ばくのおそろしさを伝えていこうと思います。伝えることしかできませんが、しっかり伝えます。今回は、特別授業を行ってくれてありがとうございます。ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/18

今回、特別授業を開いていただきありがとうございました。

まだお話を聞いただけで、すべて分かったわけでは

ありませんが、その日起こったことや、人々が感じた

恐怖・苦しみなどについて少し知ることが出来ました。

そして、核という存在は知っていましたが、ここまでの

威力、人に与える害があることにはとてもおどろきました。

そのほかにも、アメリカ軍が立てていた作戦、

B29爆撃機エノラ・ゲイの名前の由来、

ラジオゾンデ、など、いろいろなことを学ばせて

いただきました。

まだまだ分からないことはありますが、ぼくは

このことを覚え、未来の人々にも伝えて行こうと

思っています。

今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

11/18

先日、ぼくが原爆先生で学んだことは、人の命を
うばう。原爆はおそろしい物なので作っ
ては、いけないと、已々めて思いました。なぜか
という、原爆が投下されたことによって大勢
の人々が死んでしまうし、手足がどろどろに溶けて人
の形もないのに生きている人たちが大勢いて、
助けることができないということが二度とないように
原爆を作らないでほしいと思いました。どう
してかという、原爆の放射線を受けて
今も体の中に残っていて苦しんでいる人た
ちがいるので原爆は、人の命をうばう
最悪な兵器と思いました。

ぼくが、先日一日を通して学んだこと
は、原爆とは、人の命をうばう最悪な兵
器と思いました。それと原爆は、已々めて
この世から消えてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

先日は、原爆のことを教えてくれて、
ありがとうございました。

私は全然、原爆の事を知りませんでした。
最初のイメージは戦争中に落とさ
れる小さい爆弾とっていました。

だけど、授業を聞いていると、自分が想
像していた大きさとは全くちがくて、お
どろきました。

今回の授業で原爆のおそろしさを二つ知
りました。一つ目は、いつ落ちてくるか分からな
いということです。いつ落ちてくるか分から
ないということに、すごく、こわく思いました。

二つ目は、すごい高い位置から落とされる
ことです。高い位置から落とされると、その分
のしょうぶがあっておそろしいと思いまし
た。

原爆のおそろしさはまだまだありますが、それだけ、おそろしいことが分
かりました。原爆を知らなかった私も、たくさん



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11 / 18

今回の原爆先生は、重く、緊張した空気から始まった。

これから本当に真面目な話が始まる。そう、肌で感じた。

池田さんが口を開き、語り始めた。

池田さんが語った、池田義三さんの体験談の中でも私がおどろき、重いものを感じたのは、「原爆は落ちて終わり」ではな
りことと、「原爆の恐ろしさ」の2つだ。

1つ目の、落ちて終わりではないという事は、義三さんの体験
談からも十分わかる。投下直後に生きていたものの助けられ
が苦しみながら死んでいった人々はもちろん。原爆の
事後処理をした軍人、原爆病という60年たった現在に
も残る放射能の影響など。たった一つの爆弾で60年も広
島という地に傷を残している。

2つ目の、原爆の恐ろしさという事は、600m上空で爆発
しても3000度の高温で地上をおそい、表面でも7000度、中心に至ると
は100万度にもものほろ熱線。爆心地をかきの山へと変える
しょうげきは。60年先まで影響を受け続ける放射能。
それらが死者14万人という数字をたたき出した。

テレビや新聞では「知る」そして「伝える」ことが大事だといっている。けれど実際

「知る」ことができている人は少ないと思う。私はその一歩をふみだすことができてよかったと思います。



ぼくはこの原爆先生の授業を受けたものすごくたくさんのおしゃげきを受けたり、知らなかったことを知ったりすることができました。このいっかを紹介します。

第一目のしゃげきを受けたことは原爆を受けた人の死亡率が四十パーセントだということです。もともと原爆を受けた人は結構な割合で死亡してしまうという事は知っていたが、まさかの四十パーセントもあったのでものすごくおどろきました。

二、目は、被爆者の手の皮などがむけたりするということですが、ぼくはささくれが出来た時とかに結構痛いです。手の皮のほとんどがむけると聞いたのでものすごく痛かたんだらうなと思いました。

そして、知ることが出来たのは広島に投下された原爆があまり大きくない3.2mで重さが約4トンだということを知ることが出来た。

ぼくは原爆先生の授業を受けてこのような悲しい出来事を伝えていくのがものすごく大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/18

原爆を使うこと、そして戦争は起こってはいけない事だと改めて思った。

一番原爆でおそろしいと感じたのは、人の骨がむき出しになるという、その生々しい表現から想像できず、たので怖かった。しかも皮肉なことに、人を殺す道具を人が悪意を持って作ることに、さらには厳しい投下の条件を作って精密な計算を行うことに意味があるのか、そんなことがあ、ていいのかと思った。その計算は人を殺す悲しい物に使う物ではなく、人を生かすために使う物で、そうでなくても他に使うべき物があるはず。なのに原爆に使うことに、なんともいえない哀しさや呆れ、はたまた怒りのような感情かたじけなく出てきて、原爆の怖さ、恐ろしさを再認識した。臨場感のある演出のおかげで、現実味の無い話が現実味を帯びた話になり、腐敗した死体の積もる川が、怖くてしかたなかった。

このやり方を続けたら、原爆の恐ろしさが後世までしっかりと残せると思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

私は先生の話を聞いて 衝撃 とおどろきをおぼえました。とくに 衝撃 た。たところが三つあります。一つ目は 太陽より1000℃も高いものが 地土から約600mのところにあつたという事実です。そして一人にして尊い命が爆弾によって消される。この世界にそんなさんこくなことが約80年前に起きていたと考えると、とても心が痛みました。二つ目は、広島と長崎に原爆が落とされた理由です。広島や長崎は平野で東京や大阪のようには空しいがなが、たという理由で落とされたというのを聞いた時とても複雑な気持ちになりました。あの日広島が晴れてなが、たらと思うととても心が痛みます。

今自分たちにはできることは次の世代につなぐこと、そして、知ることだと思えます。伝える人がどんと少なくなっている今、私たちも次につなげて、平和の世界もみんなで作ってあげなければならぬことを知りました。先日は大切な話を伝えてくれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

原爆先生から原爆のおそろしさを知って、戦争がおきたらもっと人が死んでしまうのかと思てしまいました。

ぼくは、こんな、原爆をなぜ、落とすのか、分りません。まず、なぜこんなに大きい爆弾を作ったまで、攻撃するのか。しかも、その時は、突然くるというのか、すごくこわかったです。熱風にあおられる人間は、皮が剥がれおちている。こんなに、かわいそうな人は、他にはいません。急に大きな音とともに熱風がおそってくる感じは、あじあかないと分りません。なので、あまり深くは、いえませんが、苦しいともかいても助けがこないのは、すごくいかなしいです。このような事は、もう二度とおこってほしくないです。友達が、こうなったらどうしようかと、考えてしまいます。

今後は、世界平和を信じたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

ぼくはこの原爆先生を受講して、改めて、命の尊さ、そして、核兵器、戦争のおそろしさ、を痛感するとともに核兵器に強い恐怖感をいただきました。

この原爆先生で学んだことが2つあります。

最初は、義三^{さん}たちが被爆した時を再現した場面です。話に進展があるとき、身構^{みかま}るものの落ちた音に驚く間もなく音にこれよりもひどい残酷なことが日本でおきていることを知り言葉では言い表せないほどの恐怖^{おそ}がこめあげてきました。

最後に、義三^{さん}の肉声を聞きもう二度と戦争をおこしてはならないという信念を感じ感動し、悲惨なことをおこさないよう呼びかけをしていこうと思いました。

1時間30分私たちに話をしていただき、

ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

1/8

自分は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆は人々の命をうばうもので落ちてしまおうと、太陽みたいな熱い熱が出て人々をたやけどににしてしまう危険なものだと分かりました。また、原爆を落とさなければ戦争をやめることが大切だと思いましたが、しかし戦争をやめることはある国の言なりになることなので戦争はやめられないのです。なので、戦争をやめることはできないかと原爆は落とさないかと思いました。原爆を落としたエノラゲイもしょうけき派をくらっていたので原爆は落としたエノラゲイにもダメージが少なかったと聞いて危険なものであったので原爆はよくないと思いました。

今日は原爆のことを教えてくれてありがとうございました。自分は今回学生たかことを生かして、大人になれたことが分らない、知らない人に伝えていきたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/18(木)

原火暴先生、今回ぼくたち六年生に原火暴の事を教えてくれてありがとうございます。ぼくは、戦争や原火暴の話聞くことがものすごく好きでした。なので、今回の原火暴先生の特別授業を受講して良い糸聖馬食になりました。

原火暴先生の話聞いて初めて知ったことが多くありました。たとえば、原火暴が落とされた回数。ぼくは、広島に一回だけ原火暴が落とされたと思、ていましたが、原火暴先生のお話を聞いた時、広島と長崎に原火暴が落ちたと言、ていました。ぼくは、一つの原火暴で大きな被害になるのに、二回も原火暴を落とす事が予想もつかずおとろいてしまい、豆頁の中が真白になっていました。

今のぼくたちでは戦争や原火暴を止める事はできません。なので、と他の人に戦争、原火暴のこわさを伝える事しかできません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

ぼくがこの原爆先生の特別授業を受講する前は、原爆とはおそろしいということばかり分かっているけれど、具体的にどういうものかはよく分かっていませんでした。けれど、この授業を受講して原爆について色々知ることが出来ました。それによって、原爆の考え方が変わりました。原爆はただの火薬や弾ではなく、ぼくの体の倍以上あり重さも約4トンある火薬や弾で、人が10万人以上も死んでしまったという話を聞いたとき、もし核が今、東京に落ちてきたらなんと考えたか分からないにおそろしい話だと思いました。

また、原爆が落ちたときの音速をこえる衝撃波や、球体にふくみあがる原爆の太陽をこえる表面温度など、ぼくが考えもつかない位のことばかりを知り、この特別授業で知ったことを他の友達などには伝えて原爆のおそろしさを広めたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

ほくは、原爆の事を、祖父から聞いていたのですが、あなたの話を聞いていると、その緊張が、ほんの少し分かりました。現場に居たら、そんなものではない事、助けられない気持ち、助けようとしても逆に相手を苦しめてしまう気持ち。ほくは、助けられないのは苦しいと思いました。もし、ほくが生きてその場所に居たら、自分から死にたくなると思います。でも、死ぬ勇気も出ないと思いました。

リトルボーイを落としたエノラ・ゲイにも壊れそうになるほどの衝撃波を出す原子爆弾を、なせ人は作ってしまったのが、不思議に思いました。

死ぬまで苦しみが残るなら、なおさら原爆の被害者になりたくないと思いました。ほくは、せたいに加害者にも、被害者にも、なりたくないと思います。

今回孝父えてもらった事を、家の人にも孝父えたいと思いました。

昨日はありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

私は、原爆の話を聞いて、原爆のこわさを知りました。私は、原爆先生の話を聞く前は、原爆の話をあまり知りたくありませんでした。ですがそれをとて、後悔しました。そのため原爆の話を聞いて知ったことが多くあります。とくに、印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、原爆がおこすことです。今回原爆は、熱線、衝撃波、放射線をもちたすことを知りました。熱線は、爆心地に近い人たちの、体の水分を熱せさせ、黒いあとができること。衝撃波は、秒速440mという速さのため、人が10m飛ばされることにおどろきました。放射線は人に、原爆症という治りやう法おかない、こうい症をのこしました。

2つ目は、候補になった都市です。候補になったのは、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都がありました。その中でも京都が一番おされていましたが、文化財が多くあり日本をせんりょうしやすくなると判断され京都がしょうがいされ広島、小倉、長崎になったことを知りました。

今回原爆先生の話を聞いて、2度とおこさないよう、そして、わすれないよう伝えていこうと思います。私は、原爆のお話をしてくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/18

先日は、原爆のことをくわしくたくさん教しえていただきありがとうございます。ごさいます。ぼくは、先日原爆のことをくわしく知って原爆の被爆者の方かとしてまかわりそうに思いました。なので今回の原爆先生の特別授業を受講することがとても良い経験になりました。

ぼくは、今回の原爆先生の特別授業でたくさんを知りました。その中でも、良く知れたことがあります。

それは、原子爆弾投下都市の条件や原爆が飛ぶ速さです。広島に投下された原爆は、高さ9632mはなれていて約4kmのそりを時速300kmで投下され、高さ600mで爆発するのを知りました。高さ600kmはなれていても被爆者が14万くらいいるのでとてもきげん原爆が投下してきたのがわかりました。

改めて原爆先生の特別授業を受講することができありがとうございます。ごさいました。